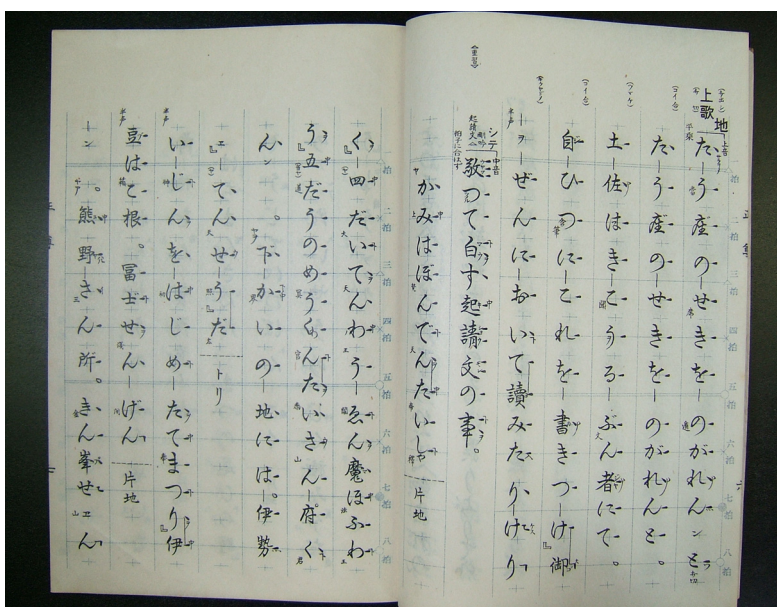
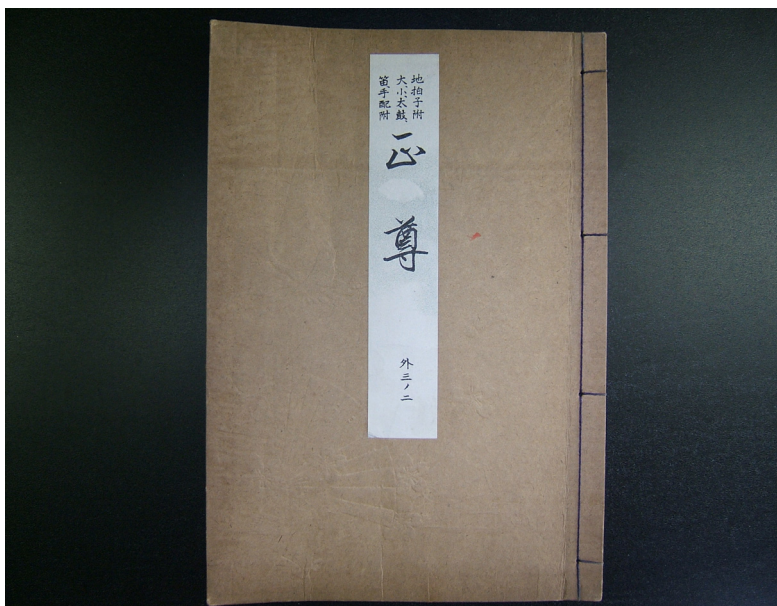


田崎延次郎 『大正十五年六月檜常之助刊地拍子附謡本「正尊」』

写真下は、起請文の箇所割付けが示されている所である。冒頭に「シテ」とある。安宅の読み物とならび、起請文は「重習」であることが、頭注箇所に記される。安宅（60頁）に見えるのと同様である。本謡本での起請文の末の文句は「正尊と読み上げたるは、みのけもよだちて書いたりけり」という同吟用バージョンではない。シテ独吟用の「正尊と読み上げたり」という簡略な文言の方が採用されている。



標題 内題…正尊

標題紙…

奥附…

その他…正尊（柱）、地拍子附大、小、太

鼓、笛、手配附 正尊 外三ノ

二（題簽）

著者 奥附…田崎延次郎

その他の場所…

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…檜大爪堂書店

出版年…大正15（1926）

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…一七丁

寸法…23×16（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考